

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練習について

- (1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で練習会場使用日程・留意事項に従い実施すること。
- (2) 練習会場では、競技役員・練習会場係の指示に従うこと。
- (3) 投てき練習は、必ず引率責任者が付き添い危険防止に努めること。指定された場所・時間以外の投てき練習は禁止とする。
- (4) 器具を用いた練習は禁止とする。

3. 競技場について

- (1) 本競技場・第2競技場の競技走路及び助走路は全天候舗装である。
- (2) スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。これらのピンの直径は、先端が4mm以内、数は11本以内とする。
(WA競技規則TR5)
競技用シューズの靴底については、WA競技規則TR5（シューズ）を守ること。フィールド用シューズについては適用しない。

4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは主催者が配付したもの（胸・背2枚）を使用し、そのままの大きさをユニフォームにつける。
ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。
- (2) 800mまでのトラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り右の腰につける。
ただし4×100mRは4走のみ、4×400mRは2～4走のみとする。
- (3) 3000m、5000m、3000mSC、5000m競歩については、胸背部特別ナンバーカードを使用する。
(競技開始1時間前までに招集所に特別ナンバーカードを受け取りに来ること。その際、正規アスリートビブスを持参すること。)
- (4) 腰ナンバー標識、特別ナンバーカードは回収しない。

5. 招集について

- (1) 招集所は200mスタート付近外側に設ける。（競技場平面図参照）
- (2) 招集開始及び完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種 目	招 集 開 始	招 集 完 了
ト ラ ッ ク 種 目	2 5 分 前	1 5 分 前
走 高 跳・走 幅 跳・三 段 跳	6 0 分 前	5 0 分 前
砲 丸 投・円 盤 投・や り 投	6 0 分 前	5 0 分 前
ハ ン マ ー 投	6 0 分 前	5 0 分 前
棒 高 跳	1 時 間 4 0 分 前	1 時 間 3 0 分 前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理する。
- (4) 競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、最終点呼を受ける。その際にアスリートビブス・スパイクピンの長さ、数、靴底の厚さ、商標等の点検を受けること。
- (5) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ【同時出場届】に必要事項を記入し招集所競技者係に提出すること。

6. 欠場について

出場種目を欠場する場合には、招集開始時刻までに【欠場届】を招集所競技者係に提出すること。
【欠場届】は TIC で配付する。

7. 入退場について

- (1) 競技役員の指示に従い入退場し、規律ある行動をとるよう心がけること。
- (2) トラック競技出場者については、次の通りである。
 - ① 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
 - ② 競技終了後、近くのゲートから競技場外に退場する。衣服等については、補助員が運搬する。(4×100mRの4走も含む)
 - ③ 4×100mRの1～3走は各スタート地点に戻りそれぞれのゲートから退場する。
- (3) フィールド競技者については、次のとおりである。
 - ① 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
 - ② 跳躍及び投てき競技役員の誘導によって各ゲートから退場する。

8. トラック競技について

- (1) トラック競技予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
- (2) トラック競技の決勝の走路順は主催者が抽選し、招集所に掲示する。
- (3) すべてのトラック競技種目は写真判定(1/100秒)で行う。
- (4) 800mまでの種目及びリレー競走の同タイム者及びチームについては、細部(1/1000秒)まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合、レーンに余裕がある限り進出させる。レーン数が不足する場合には本人または代理者により抽選を行う。
- (5) 1500m・3000mSCの同タイム者については、次のラウンドに進出させる。

9. リレー競技について

- (1) リレー競技に出場するチームは、【リレーオーダー用紙】を招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出する。
また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらずオーダー用紙にオーダーを記入し予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。提出なき場合は棄権とみなす。
- (2) リレー競技においては、同一チームの競技者は原則同一ユニフォームを着用する。

10. 跳躍競技について

- (1) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は次のとおりである。
(状況により変更する場合がある)

種 目	練 習	バーの上げ方					
		1 m 8 5	1 m 9 0	1 m 9 5	1 m 9 8	2 m 0 1	以後 3 c m
男子 走高跳	1 m 8 0 1 m 9 5						
女子 走高跳	1 m 4 5 1 m 5 8	1 m 5 0	1 m 5 5	1 m 5 8	1 m 6 1	1 m 6 4	以後 3 c m
男子 棒高跳	3 m 7 0 4 m 3 0	3 m 8 0	4 m 0 0	4 m 2 0	4 m 4 0	4 m 5 0	以後 10 c m
女子 棒高跳	2 m 5 0 3 m 0 0	2 m 6 0	2 m 8 0	3 m 0 0	3 m 2 0	3 m 3 0	以後 10 c m

- (2) 第1位決定のためのバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。
- (3) 棒高跳出場者は、【アップライト申請書】を招集開始時刻まで招集所競技者係に提出すること。提出後の変更は、棒高跳競技役員に申し出ること。
- (4) 三段跳の踏切板は、男子12m、女子10mとする。

- 1 1. イエローカード（以後、Y Cと称す）に関して、当大会では以下の様に運用する。
- (1) W A競技規則T R 1 6の規定により (a) (b) (c) いずれかの行為を行った時、Y Cを提示し警告を与える。
この場合他種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- (2) 同一種目で2回のY Cを受けた競技者は、該当種目を失格とする。但し、それ以後の他の種目の出場は可能である。Y Cの累積は、該当種目のみに適用する。

1 2. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) 個人所有の棒高跳用ポールは検査に合格したものが使用できる。
- (3) 投てき競技において、競技者所有の投てき物の持ち込みを次の条件のもとに認める。
- ① 検査に合格する。
 - ② 全出場者が公平に競技会で使用できる。
 - ③ 主催者が検査の可否にかかわらず、投てき物を競技終了まで借り上げる。
 - ④ 競技会使用により破損しても主催者の責任は問われない。
- 以上の条件を理解した上で持ち込みを希望する学校・選手は、競技開始2時間前から1時間30分前までに、T I C（競技場正面玄関前）で検査を受け付ける。時間外での検査は行わない。返却は【投てき用具預かり証】と引き替えに、各競技終了後T I Cで行うので速やかに受け取ること。

《検査時間》

1 0 月 2 2 日 (土)	男砲丸投	8 : 0 0 ~ 8 : 3 0
	女円盤投	8 : 0 0 ~ 8 : 3 0
	男ハンマー投	1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0
	女やり投	1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0
1 0 月 2 3 日 (日)	女砲丸投	8 : 0 0 ~ 8 : 3 0
	男円盤投	8 : 0 0 ~ 8 : 3 0
	女ハンマー投	1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0
	男やり投	1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0

- (4) 練習会場の投てき用器具は、各自で用意すること。
- 1 3. 入賞・表彰について
- (1) 各種目の入賞は、第8位までとする。
- (2) 各種目3位までに入賞した競技者（チーム）は競技終了後に表彰式を行うので表彰控所に待機していること。
- (3) 表彰式への参加のない入賞者はT I Cで賞状を受け取る。
- 1 4. 抗議について
- W A競技規則T R 8による。ただし、【抗議は各都県監督のみが行えるものとする。】
- 1 5. 助力について
- W A競技規則T R 6に従う。なお、スタンドから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡ししての映像確認は認めない。
- 1 6. 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合について
- 競技場内に、下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品を持ち込むことは、規定に抵触するので慎むこと。
- (1) 上衣・下衣（ユニフォーム、Tシャツ、タイツ等）
学校名/ロゴ：上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ、大きさは問わない。
製造会社名/ロゴ：上下1つずつ、40cm²以内、高さ5cm以内
- (2) バッグ
製造会社名/ロゴ：40cm²以内、最大の高さ5cm
- (3) ソックス・手袋・帽子・リストバンドなど
製造会社名/ロゴ：1カ所、6cm²、最大の高さ3cm
- (4) 競技者が競技中に衣類を2枚重ねて着用する（例えばベストの下にTシャツを着用する・ショーツの下にタイツを着用する）場合は、下に着用している衣類が露出していれば、広告その他の表示があってはならない。

17. T I C（総合案内所；正面玄関前）の業務及び提出書類は下記のとおりとする。

配布書類及び業務	提出または受付場所	提出または受付時間
アスリートビブス	T I C	10月21日（金） 9:30～17:00 10月22日（土）以降 7:00～16:00
欠場届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
同時出場届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
リレーオーダー用紙	招集所競技者係	招集完了1時間前まで
アップライト申請書	招集所競技者係	招集開始時刻まで
プログラム訂正届用紙	T I C	随時
投てき用具預かり証	T I C	競技開始1時間30分前まで
記録証明書申請書	T I C	随時（1部300円）
遺失物保管	T I C	随時
表彰式不参加者の賞状	T I C	記録発表30分後から

18. 施設使用について

- （1）主競技場・第2競技場の使用時間は、別紙の練習日程表の記載時間とする。
- （2）参加校の待機場所は、各都県に割り当てられた場所を使用すること。
【養生テープのみ使用可】
- （3）参加校のテント等設置は決められた場所以外は禁止とする。
- （4）主競技場において、横断幕の設置は、サイドおよびバックスタンドの最前面の手すり部分とA倉庫・B倉庫上部の手すり部分のみとする。なおのぼり旗の設置は禁止とする。
- （5）更衣室は更衣のみに使用し、他の目的に使用しないこと。

19. 応援について

感染症拡大防止次の観点から次のように規制します。

- （1）競技場は許可を得た者しか入場することができない。
- （2）声を出しての応援は禁止とする。（拍手等の応援のみ）

20. その他

- （1）競技会で発生した事故等については、主催者側で応急手当をするが以後の責任は負わない。
- （2）開会式の式次第についてはプログラムに記載する。
- （3）貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。
- （4）I Dカードがない者は本競技場内および補助競技場に立ち入ることはできない。
競技者以外の者はトラック・フィールドに絶対に入らないこと。
- （5）主競技場においてはコーチエリアを設けるのでその指示に従うこと。
- （6）競技場内では、指定された場所以外には荷物は置かないこと。
- （7）競技者は当該競技場所を勝手に離れることはできない（トイレ等で離れる場合には競技役員の指示に従うこと）。
- （8）競技者は電子機器類（映像装置・オーディオ機器・通信機器・携帯電話等）を競技場内に持ち込むことはできない。
- （9）競技者は競技役員の指示に従い事故等のないよう留意すること。また、「組」「試技順」を確認し競技進行に協力すること。
- （10）ゴミは原則として各自の持ち帰りとする。
- （11）公園利用者に迷惑となる行為は厳に慎むこと。
- （12）個人情報の取り扱いについて大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的で利用することはありません。